



学校教育目標

二中文化を創造する生徒

わかる授業の創造・認め合える学級の創造・共に高め合う学校の創造

令和元年9月27日発行



## NEXT STAGE! ～生徒会本部役員選挙～

校長 渡邊 一 衛

9月11日(水)に令和元年度後期・令和2年度前期の生徒会本部役員選挙が行われました。選挙管理委員会では、スローガン「NEXT STAGE」とキャッチフレーズ「生徒会選挙は変わります 新しい時代とともに」を掲げ、今までの立候補者による立会演説会から、立候補者及びフロアーの全生徒との討論会へ、形を変えた選挙としました。

選挙管理委員長の渡井優奈さんが、「スローガンの意味は、1. 生徒会本部役員が移り代わる 2. 選挙で終わりではなく続きがある の2つです。この選挙のために多くの人が力を注いできました。今日の討論会、投票でこれからの二中の今後が左右されます。一人一人が意思をもって充実した時間にしましょう。」とスローガンの意味と選挙の意義を説明しました。

討論会においては、「良い学校とはどんな学校か」をテーマに、立候補者から、言葉の力を感じる、意見が出されました。

### 2-1 佐野円花さん

「生徒同士で良いコミュニケーションをとり、どんなときでも互いに高め合える学校。お互い、良い刺激を与え合えれば自分たちのプラスになっていく。」

### 2-2 赤池琉輔さん

「あいさつができる学校。元気なあいさつは地域の方、先生、友達に良い第一印象をもってもらえる。」

### 2-2 酒井優希さん

「次に使う人のことを考え、水道の蛇口を下に向けるなど、小さなことから一つ一つ改善していける学校を目指す。」

### 2-3 野村愛華さん

「あいさつ、笑顔があふれる学校。相手も自分も豊かな気分になる。学校生活が今まで以上に楽しくなる。」

### 1-2 河村叶子さん「学校の雰囲気づくりの重要性」

### 1-2 渡邊拓夢さん「あいさつの重要性」

### 1-3 井澤新貴さん「文化を引き継ぎ、創造することの重要性」



討論会(前列が立候補者)



討論に参加する生徒

また、フロアーの生徒たちからも様々な問題提起がありました。

- ・代表の人だけでなく、一人一人が積極的に意見を言い、よい行事をつくっていく。
- ・当たり前のことを当たり前でできる学校にする。あいさつ、黙想などをしっかりやる。
- ・いじめをなくし、みんなが明るい生活を送れる学校にする。
- ・人の嫌がることをしない。相手のことを考えた言動になっているか、考える。

短い時間であり意見が絡み合う段階まではいきませんでした。立候補者の生の考えを聞くということで、通常の立会演説会よりも興味深かったと私は思いました。

そして、子どもたちの言葉を聞く中で、きっと様々な課題を自分たちの力で解決していけるのではないか、二中をよりよい学校にしていけるのではないか、と強く感じました。

本年度から来年度にかけて、富士宮二中では4つの工事が行われます。

### (1) プールブロック塀改修工事

東側のプール入口付近には高さが3メートルを超えるブロック塀があり、今年度の4月～8月にかけて撤去工事が行われました。また、周囲を取り囲むフェンスも全て新設され、外観も綺麗になりました。かつては、本校のプールで中体連水泳大会が行われ、多くの二中学生も活躍しました。今後も大切に利用していきたいと思っております。



プール東ブロック塀 解体後フェンスを設置

### (2) エアコン設置工事



校舎西・配線ダクト

市内小学校のエアコン設置工事が終盤に入り、いよいよ中学校でも設置工事が本格的になりました。本校では9月1日に工事が始まり、令和2年3月中旬に終了予定です。1・2棟をはじめ、理科室、技術・家庭科室など、特別教室も含め、約40台のエアコンが設置されます。希翔祭「体育の部」終了後は1・2棟の南側に足場が組まれます。なお、1・2棟の間の駐車場について、工事を行う昼間は駐車できない場合があります。来校時に案内版がある場合は、ご注意ください。

### (3) 旧特別棟と武道場の解体工事

本校卒業生の皆様には特別棟（旧技術科室）と武道場（2体倉庫）という名前に懐かしさを感じる方も多くいると思います。耐震等の理由から、本年度をもって解体されることになりました。現在、旧特別棟の解体工事が進められています。跡地にはプレハブ倉庫(100m<sup>2</sup>)が新設されます。また、武道場跡地は駐車場スペースとして活用されます。



旧特別棟の解体工事

### (4) 長寿命化改修（工事）

「長寿命化改修」は、学校施設の老朽化対策を効率的・効果的に進めるための新しい改修方法です。背景には、日本の公共施設の約4割を占める学校施設のうち、公立小中学校については建築後25年以上を経過した建物が保有面積の約7割を占めるなど、老朽化の深刻な問題があります。限られた財政状況の下で老朽化対策を進めるため、コストを抑えながら、建て替えと同等の教育環境を確保することができ、排出する廃棄物量も少ない新しい方法として長寿命化改修が行われます。本校では1・2棟の外壁部、クラック（ひび割れ）補修、屋上の防水シート交換、非常階段の改修等が令和2年度末にかけて行われます。



グリーンゾーンの落ち葉

### グリーンゾーン（サーキット）は下履きでの利用となります

2棟と特別棟の間から櫛（けやき）の下にかけての「グリーンゾーン」は部活動や集会などをシューズで行える場所として、長年利用してきました。しかし、砂や落ち葉がシューズに付着し、同じシューズのまま体育館で活動するため、体育館の床が滑ってしまう状況が課題となっていました。そこで、本年度の希翔祭「運動の部」当日から、グリーンゾーンは下履きで活動することとしました。グリーンゾーンは上履きでの活動場所として、保護者や地域の皆様にも長年に渡り御協力をいただき、感謝申し上げます。なお、2棟から特別棟への移動に際しては、シューズのまま移動できる範囲を確保する予定です。今後も御理解と御協力の程、よろしく申し上げます。

- ※ 工事期間中に来校される皆様には駐車場が狭く、不便をおかけしますが、御対応の程、よろしく申し上げます。
- ※ 二中東側の旧児童館も解体し、新児童館を建設する予定です。多くの工事が二中敷地内、及び、周辺で行われます。工事車両の出入りが多くなることも予想されますので、保護者や地域の皆様にも安全面への御配慮をお願いします。なお、生徒の安全・安心について、お気づきの点がありましたら学校まで御連絡ください。（学校電話 27-7369）